

上部消化管内視鏡検査に関する説明書

上部消化管（食道・胃・十二指腸）について調べるために、内視鏡による検査を行います。

- 1 検査中に何か病変が見つかった場合は、診断の補助として病変に色素を散布したり、良性・悪性などの診断や、ピロリ菌感染の有無を調べるために粘膜組織の一部を採取すること（生検）があります。
- 2 生検をした場合、検査当日は激しい運動および刺激物（アルコール、香辛料など）の摂取を避けてください。なお、血液が固まるのを防ぐ薬を服用中の方や血液が固まりにくい病気の方は、出血が止まらなくなる可能性がありますので、原則的に生検は行いません。
- 3 前処置に用いる薬剤や検査の苦痛を和らげるための鎮静剤による影響のために目がチカチカしたり、眠気やふらつきが残ることがあります。このため検査当日の乗り物の運転は危険ですのでお止めください。万一、無理に運転をして事故などをおこしても、当院は責任を負いかねます。

のどを麻酔して検査を行いますので、検査後1時間位は飲食ができません。

鎮静剤などを注射した場合は検査終了後、約1時間程度、安静室で様子を見てから帰宅していただきます。

鎮静剤は当日お申し出いただいても使用できません。使用を希望される方は、予約時に担当の医師とご相談ください。また、鎮静剤を使用する場合は原則として同伴者と来院してください。

- 4 検査が原因で咽頭痛（のどの痛み）や腹痛などが出現する可能性があります。通常数日以内に消失します。重篤な合併症として、出血や穿孔などが発生することが稀にあります。この頻度は、全国集計で検査を受けた方の約0.007%と報告されています。このような重篤な合併症が発生した場合には、再検査、輸血や手術も考慮した治療を適切にかつ迅速に行います。検査が終了した後で、万一、吐血・黒色便・持続する腹痛などがありましたら、主治医もしくは検査医にご連絡ください。
- 5 当日の身体状況によっては、検査を中止させていただく場合もあります。予めご了承ください。
- 6 検査当日の状況により、検査が予約時間通りに開始・終了できない場合があります。予めご了承ください。
- 7 同意いただけても患者さんに不利益が生じることはありません。また、同意を後日、撤回することもできます。ご不明な点がございましたら主治医・検査医へご質問ください。